

施策の進捗管理シート

令和 3 年度

総合 体系 計画	分野	3	第 3 章	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	施策統括課	高齢福祉課
	施策No.	15	施策名	住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	課長名 (施策統括責任)	伊東 孝治
	関係課	保険年金課 高齢福祉課				

1. 施策の目標

めざす姿 (成果目標)	高齢者は、介護状態にならないように予防に努めながら、生きがいを持つことや社会参加をすることなどによって、住み慣れた地域で自分らしくいきいきと暮らしている。
取組方針	高齢者が生きがいを持って、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるようにするため、高齢者の生活支援を推進するとともに、医療と介護の連携を進め、支援の担い手育成など地域で支える体制を整えます。また、介護状態にならずにいきいきと過ごせるように、健康づくりや介護予防を推進し、生きがいづくりの機会や社会参加の場づくりに取り組みます。

2. 施策の意図と成果指標

対象（誰、何を対象としているのか）*人や自然資源等	65歳以上の高齢者						
意図□この施策によって対象をどう変えるのか	高齢者が健康で自立した生活をできるだけ長く続けること、そして、たとえ介護を必要とする状態になっても、その人らしい生活を自分の意思で可能とすることで、高齢者が尊厳ある暮らしを維持できるようにする。						
成果指標 A							単位
自分らしくいきいき生活している高齢者の割合							%
H30 基準	R01 計画実績	R02 計画実績	R03 計画実績	R04 計画実績	R05 計画実績	R06 目標	
71.0	71.6 75.2	72.2 73.6	72.9	73.6	74.3	75.0	
成果指標 B							単位
要介護（要支援を含む）認定を受けている人の割合							%
H30 基準	R01 計画実績	R02 計画実績	R03 計画実績	R04 計画実績	R05 計画実績	R06 目標	
20.3	20.6 20.0	20.9 20.1	21.2	21.5	21.8	22.0	

3. 市民意向調査結果

施策の重要度	前回	今回	
重要である	51.3%	51.2%	↓
ある程度重要である	39.2%	38.4%	↓
あまり重要ではない	2.6%	2.8%	↑
重要ではない	0.4%	0.6%	↑
順位	9/36位	7/36位	↑

施策の満足度	前回	今回	
満足している	5.1%	4.7%	↓
どちらかといえば満足	46.7%	48.4%	↑
どちらかといえば不満	26.3%	27.9%	↑
不満である	5.5%	4.0%	↓
順位	15/36位	11/36位	↑